

# 家電批評

【月刊かてんひょう】

TEST, REVIEW and BUY

2017年8月3日発行(毎月3日発行)第9巻第9号 通巻94号

9  
2017 Sep.  
特別定価 **680円**

ホンモノがわかる  
家電情報誌



アイロンの手間を  
確実に減らす!  
「風アイロン」が  
本当にラクだった!

とにかくラクする!

# 家電傑作



カウントフリーで  
アプリ使い放題! **格安SIM**

**iPhone** SIMフリー「7」×  
フリーテルが正解!

新料金プランに「ちょっと待った」!! **au**

**料金、ちょっと見直してみませんか?**

[即完売! ドンキホーテを筆頭に  
話題の格安4Kテレビを徹底検証!]

# 格安4Kテレビ



買ってもいいの??

大正解  
教えます!!

# 間違いだらけの スマホ運用

料金の放置は確実に損!  
キャリアの



36  
ページ  
小冊子  
付録  
つき!

夏スマホ  
全**50**台  
辛口評価



テストと波形で  
わかった!

違いがわかる  
ハイRez  
プレーヤー  
全17台検証!



絶対得する! 大正解教えます!

正解①  
20分以内なら  
フリーが正解!!

②  
ず、待ちが正解です!

カウントフリー

が最適解!

【非公式認証系!】

# これが大正解!

得するスマホの大正解

## 転ばぬ先の杖 全自動バックアップと

**月額700円で3台のスマホまで補償!**  
**スマホ壊しの常習犯には必須のサービス!**

**年間10万円まで保険金をカバーする**  
 「モバイル保険」は月額700円で最大3台までのモバイル機器に保険をかけるサービス。対象はスマホ、タブレット、スマートウォッチ、モバイルルーター、ノートPC、携帯ゲーム機など、Wi-Fiにつながるあらゆる機器なので幅広い。保険金額は年間最大10万円までだが、その範囲内なら何度でも補償してくれる。端末の登録や保険申請もWeb上でサッと行えるため手間いらず。端末をよく壊すなら加入しておいて損はない。



スマホやタブレットからゲーム機まで幅広く補償する

**さくら少額短期保険**  
**モバイル保険**  
 価格 ▶ 700円/月

**SPEC** ● 保険金額 / 主端末: 最大10万円、副端末: 最大3万円  
 ● 補償台数 / 3台 (主端末: 1台、副端末: 2台) ● 保険期間 / 1年

### ココがスゴイ! 4つのポイント

**どの修理業者でも大丈夫! ④**  
 日本国内に存在する修理店で、「修理に関する報告書(リペアレポート)」を発行してくれるなら、どの修理業者を利用してもOK。なお、保険金の申請にはリペアレポートのほかに、修理費用の領収書と事故端末の写真が必要となる。これらも忘れず用意しよう。



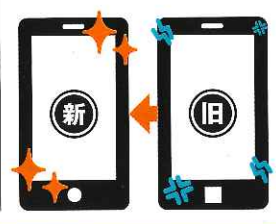
**中古端末でも保険対象! ③**  
 ネットオークションや知人から譲り受けた中古端末はすべて保険の対象外となってしまいます。しかし、中古ショップ(法人)で購入した場合に限り、「国内メーカーの製品」かつ「端末取得日から3か月以上の保証書付き」という条件を満たすなら保険の対象となるのだ。



**破損・水没・盗難もカバー ②**  
 端末の落下や水没といったよくある故障は補償対象。盗難にも対応してくれるので安心だ。ただし、紛失や自然災害、日本国外で生じた損害は対象外となる。また、端末の改造による故障でも当然ながら補償対象外だ。このように例外がいくつかあるので契約前に確認しておこう。



**端末・キャリアが替わってもOK ①**  
 保険の対象は自由に変更できるため、スマホの買い替えやキャリアの移行があっても大丈夫。ただ、サブ端末を追加登録した場合は登録日から30日間は補償の対象外となる。また、一度でもメイン端末・サブ端末から削除してしまうと、その端末は保険の対象とならないので要注意。



**これが大正解!**  
**AppleCare+は購入1か月以内なら入れる**  
 Apple製品には「AppleCare+」という製品保証サービスがあり、加入しておく修理代金が格段に安くなる。これは購入から30日以内なら加入対象になるので、購入時に加入し忘れても安心だ。なお、加入はApple Storeに来店するかサポートに電話すればOK。

**購入1年未満なら後から入れるスマホ保険**  
 スマホの補償サービスは購入時しか加入できないことが多い。ところが、「モバイル保険」は購入から1年未満なら加入対象となるのだ。料金は月々わずか700円。1日あたり約23円と経済的で、最大3台までの端末を保険対象にできる。また、Wi-Fiにつながるモバイル機器ならすべて保険をかけられるため、スマホだけでなく、タブレットやノートPCの保険としても使える。保険金の申請には領収書や事故端末の写真が必要になるなど、煩わしい面があるものの、補償サービスに入らなかったことを後悔している人なら、ぜひ加入を検討してほしい。

## スマホの保険でリスクカバー!

**Androidも全自動で完全バックアップ**  
**容量無制限で大容量データも大丈夫!**



**AOSデータ AOS Cloud**  
 価格 ▶ 500円/月  
 SPEC ● 対応OS / Android 4.0.3以降、iOS 8以降 ● 対応 / 連絡先、SMS、発信履歴、画像、音楽、書類、動画、ブックマーク、カレンダー (iOS版は連絡先、画像、動画、カレンダーのみ対応)

どんな種類のデータも全部自動でバックアップできるから安心!



**なくしたくないデータはすべてクラウド管理!**  
 クラウド上にスマホのデータをバックアップしておけば、端末が故障してもクラウド上からデータをダウンロードして復元できるため安心だ。iPhoneなら「iCloud」を使うことでこのようなバックアップと復元ができる。一方、Androidスマホにはそのようなクラウドサービスがないため、「AOS Cloud」を利用しよう。本サービスを使えばAndroidでもiCloudと同じようにあらゆるタイプのデータをクラウド上にバックアップできるようになる。月500円の利用料は必要だが、容量が無制限なので写真や動画のバックアップ先としても非常に使いやすい。

### ココがスゴイ!

**複数端末を一元管理できる ③**  
 複数端末のデータを一括管理できるため、端末ごとにアカウントを作る必要がない。また、バックアップできるデータは制限されるが、iOS端末のバックアップにも対応している。

**あらゆる端末でチェックできる ②**  
 クラウド上にデータが保存されるため、バックアップした端末だけでなくパソコンなどからもアクセスして、データの管理やダウンロードができる。

**寝ている間にバックアップ完了! ①**  
 AOS Cloudは自動バックアップに対応しているため、バックアップを意識しなくても大丈夫。設定すれば、寝ている間に全データをバックアップすることも可能だ。

**タップするだけのカンタン設定!**  
 iPhoneの場合、「iCloud」を使うことでデータのバックアップや復元が容易にできる。そのため、格安SIMに乗り換えたからといって故障や機種変更にも怯える必要はない。ところが、Androidにはそのような便利なサービスがない。そこで利用したいのが、バックアップサービス「AOS Cloud」だ。選んだ項目が毎日自動バックアップされるため使いやすく、取り忘れない。また、複数端末のバックアップをまとめて管理できるので、スマホ・タブレットの両方で使うこともできる。ただし、無料で使えるのは最大10GBまで。そのため、本格的な利用には有料プランに移行する必要がある。なお、有料プランは月額が500円とやや高めだが、容量無制限なのでその価値は充分に見出せるはずだ。



みんなのお悩み

格安SIMにしたたら、故障やデータのバックアップが超不安です

